

水海道ロータリークラブから 優勝カップ13個を寄贈



ロータリークラブ秋田会長（右）から優勝カップを寄贈される浅野谷井田小学校長（左）

の秋田会長からは、「『子どもたちに夢を与えよう』というテーマのもと、このような事業ができたことで、喜んでいただけて嬉しい。さらに、感謝状までいただき大変ありがたい」とお礼の言葉をいただきました。

この優勝カップを最初に手にするのは、果たしてどの学校になるのでしょうか？

小学校では今夏の水泳記録会、中学校では今秋の新人戦にお披露目されます。

水海道ロータリークラブから、市小中学校の運動競技会などで授与する優勝カップ13個（小学校水泳記録会の優勝チーム男女別に2個、中学校新人体育大会の各種目別に11個）を寄贈いただきました。

これまでの大会では賞状のみの授与だったことから、寄贈を受けた市教育長をはじめ、各学校長からは「大変ありがたい。生徒たちもこれまで以上にやる気が出るのではないか」と喜んでいました。

今回の寄贈により、教育長から感謝状を贈呈された同クラブ



感謝状を持つ豊嶋教育長（右）と秋田会長（左）

サロンパスカップ ギャラリープラザ大盛況



大勢の観客で賑わう
地元飲食店の販売ブース

ワールドレディース・サロンパスカップの会場（茨城ゴルフ倶楽部）には、ギャラリー（観客）を対象とした『ギャラリープラザ』が開設され、市商工会物産店をはじめ、JA茨城みなみ農協や地元飲食

店が、各販売ブースで地元の特産品などを販売しました。

都内からつくばエクスプレスでいらしたご夫婦は、「今日はお目当ての選手を間近に見ることができました。おまけに、JAのお店で新鮮なきゅうりとトマトが安く買えたので、ダブルでラッキーでした。」と野菜の入った袋を両手にぶら下げながら、満足そう

コシヒカリオーナー家族 楽しく田植え体験！

安全・安心な食に対する消費者の関心が高まっている中、つくばみらい市産の安全でおいしいコシヒカリを広く知っていただくとうと、コシヒカリ（田んぼ）のオーナーとなった消費者と地元農家の方と一緒に米作りをすることで、農業の楽しさや大変さを理解していただく「田植え体験」が、5月23日に行われました。当日は、晴天にも恵まれ、オーナーとその家族約150人が田んぼに入り、田植えを楽しみました。

県外から参加されたご家族

は、「子どもに自然の楽しさを知ってもらおうと応募しました。田んぼに入ると自分の足が思うように動いてくれず、結構大変なことに気付きました。」と話し、お子さんと一緒に泥だらけになりながら、田植えを満喫していました。

また、市外から参加された女性の方は、「昨年参加した方から、ここで作られたお米をいただき、とてもおいしかったので、今回は自分で申し込みました。お米のできる秋がとても待ち遠しいです!」と笑顔で話してく

に話していました。

ふるさとづくり寄附を
いただきました

最終日の表彰式では、大会事務局を代表して、(株)日本女子プロゴルフ協会の樋口会長から、チャリティ収益で得た22万5339円を、市の「安心して暮らせるまちづくり事業」へご寄附をいただきました。



樋口会長（右）から寄附（目録）をいただく飯島市長（左）
れました。



初めて田んぼに入った感想は？